

## CEV補助金(V2H補助金)はご存知ですか？

製品に対する交付額

**75万円**

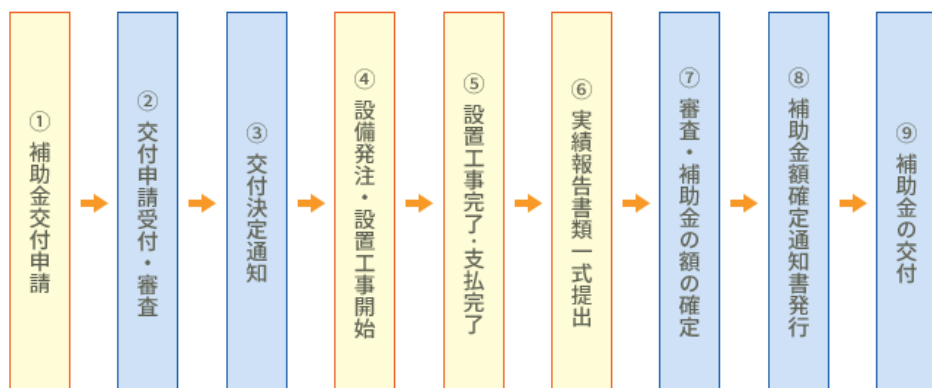
←(例)三菱電機 V2Hの場合

施工工事に対する交付額

**上限95万円**
**最大170万円**
**の補助金が交付されます**

**主な  
条件**

1. 法人であること
2. 個人宅でないこと
3. 設備5年間の管理・運用
4. gBizINFOへのデータ提供
5. 災害時にV2H使用協力の努力 …等

**申請期限：R2年10月30日必着**
**報告期限：R3年1月29日必着**
**<交付までの流れ>**


お早めに  
お問い合わせください

センター 申請者

## V2H とは？

『V2H』は <sup>車</sup>Vehicle to <sup>家</sup>Home (ヴィークル トゥー ホーム) の略語です  
直訳すると《**車から家に**》となります

## どんな設備なのか？

電気を電気自動車に送ることは  
もちろん  
電気自動車の電気を家へ送ることができます。  
つまり

**電気自動車の電気を家で使えるようにする設備です。**

## 利点は？

非常時に電気自動車の電気を使用できる  
太陽光発電の電気を有効利用できる

### 概略図

Q. 電気自動車 (EV) にためた電気を  
どうして家庭用に使えるの？

三菱のSMART V2Hは、太陽光発電でつくった電気をEVに蓄えます。車を蓄電池として使用し、家庭用にも給電できるので、EVの能力をフルに発揮できるのです。

- case1 昼は太陽光で車に蓄電、夜は車から家庭に給電。
- case2 昼は車として活用、夜は安い電気で車に蓄電。



Q. 電気自動車 (EV) と家庭用蓄電システムの  
蓄電池は、何がちがうの？

大きな違いは、その容量にあります。EVなら最大で家庭用蓄電システムの約6~8倍の電気<sup>※1</sup>が蓄えられるんです！



### ●EVは大容量な上に実用的

EVなら40kWh<sup>※2</sup>までたっぷり蓄電できる上、車としても利用できるから実用性も両立！フル充電していた場合、数日間もの電気の供給<sup>※3</sup>が可能です。

※1: 家庭用蓄電システムの蓄電容量を5~7kWhとした場合。  
 ※2: 日産自動車リーフの場合。また、車種により使用できる電力量が異なります。  
 詳しくはPG「SMART V2H」対応車種一覧をご覧ください。  
 ※3: ご家庭の電気使用量によります。